

平成28年1月8日

お知らせ

件名	国道231号の新トンネル「浜益トンネル」が開通 ～道路交通の確実性及び安全性が向上します～
----	--

お知らせ内容

札幌開発建設部が整備を進めている国道231号雄冬防災事業において新トンネル「浜益トンネル」が開通します。なお、新トンネル開通後も分岐部において引き続き工事を実施するため、当面の間通行規制を行います（資料1のとおり）。

また、開通に先立ち、防災訓練を資料2のとおり実施しますのでお知らせします。

【浜益トンネルの開通】・・・資料1

日時	平成28年1月19日（火）	午前7時
区間	国道231号 雄冬防災 石狩市浜益区雄冬	

○期待される効果

効果1 道路交通の確実性及び安全性の向上

- ・当該事業区間では、越波、土砂崩れ・落石による通行止めが過去10年間で32回発生し、石狩市浜益区雄冬などの地区では孤立集落が発生しています。
- ・当該道路の整備により、道路交通の確実性及び安全性の向上、集落の孤立化の解消が期待されます。

効果2 通行止め時の迂回時間の損失を解消

- ・当該事業区間では、通行止め時、厚田～増毛間の大規模な迂回（56分、62km）が発生し、所要時間が1.6倍に増加するなど、地域住民の生活に大きな負担となっています。
- ・当該道路の整備により、通行止めによる大規模な迂回の解消が期待されます。

効果3 水産品の確実な輸送路の確保

- ・留萌地区で加工される数の子製品は、全道の約7割のシェアを誇り、当該路線は、原料となるニシン原卵と数の子製品を輸送する重要なルートとなっています。
- ・製品輸送時期には通行規制が過去10年間で18回発生し、迂回等により輸送効率が低下しています。当該道路の整備により、水産品の確実な輸送路の確保が期待されます。

【防災訓練】・・・資料2

日時	平成28年1月18日（月）午後1時から午後2時まで
参加者	石狩北部地区消防事務組合石狩消防署、増毛町消防本部、札幌開発建設部
内容	情報伝達訓練、救助・救出訓練

問合せ先	所属	役職	氏名	電話
	北海道開発局 札幌開発建設部	道路計画課長	あおき ひでかず 青木 秀一	011-611-0239 (ダイヤルイン)
		滝川道路事務所長	きのした すくる 木下 豪	0125-22-4147
札幌開発建設部 ホームページアドレス		http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/		

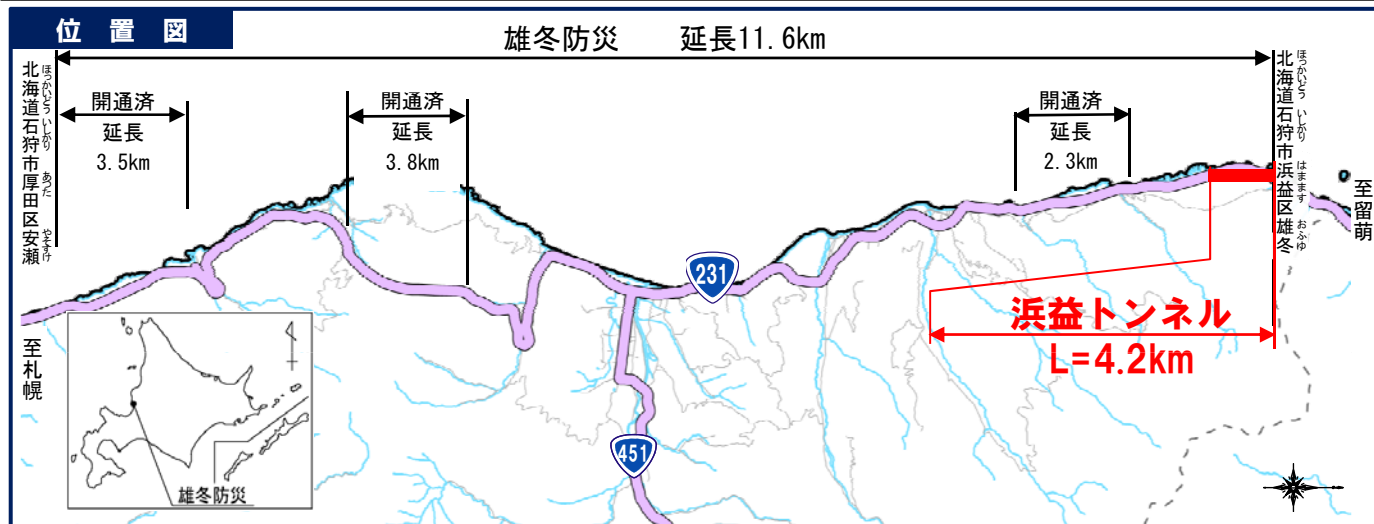
国道231号 石狩市浜益区

はまます

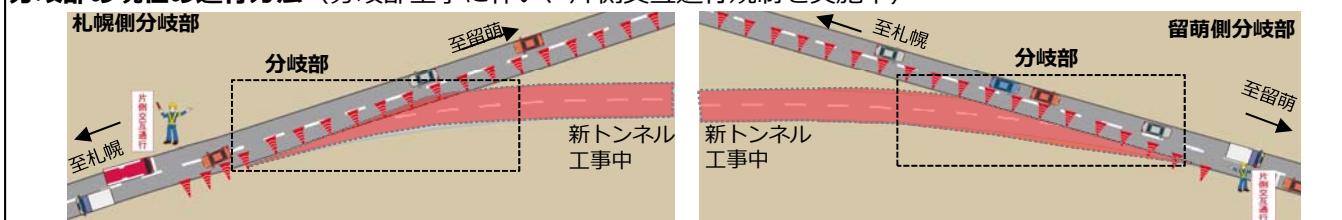
浜益トンネルが開通します

札幌開発建設部が進めている国道231号雄冬防災事業において、新トンネル(L=1.6km)が完成し「浜益トンネル(L=4.2km)」として開通します。

開通日時 : 平成28年1月19日(火) 午前7時



分岐部の現在の通行方法 (分岐部工事に伴い、片側交互通行規制を実施中)



新トンネル開通後の通行方法 (引き続き、分岐部の現道閉塞工事に伴い、片側交互通行規制等を実施します)



新トンネル開通後も、分岐部において引き続き工事を実施するため、当面の間**交通規制を行います**。ご不便をおかけしますがご理解とご協力をお願いします。

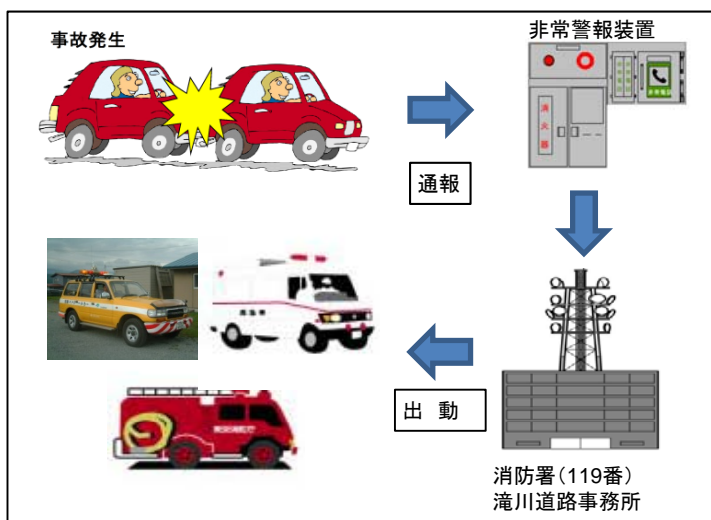
国道231号 石狩市 ^{はまます} 浜益トンネル防災訓練

～関係機関との協力体制の充実・強化を図ります～

- 日 時 平成28年1月18日(月) 午後1時から午後2時まで
- 目 的 浜益トンネル開通に先立ち、関係機関とトンネル内事故を想定した実践的な合同防災訓練を実施することで、協力体制の充実・強化を図ります。
- 参加機関 石狩北部地区消防事務組合石狩消防署、増毛町消防本部、札幌開発建設部
- 訓練内容 情報伝達訓練、救助・救出訓練

情報伝達訓練

トンネル内で事故が発生した場合に消防署、開発局(滝川道路事務所)へ事象発生を通報し出動する訓練です。



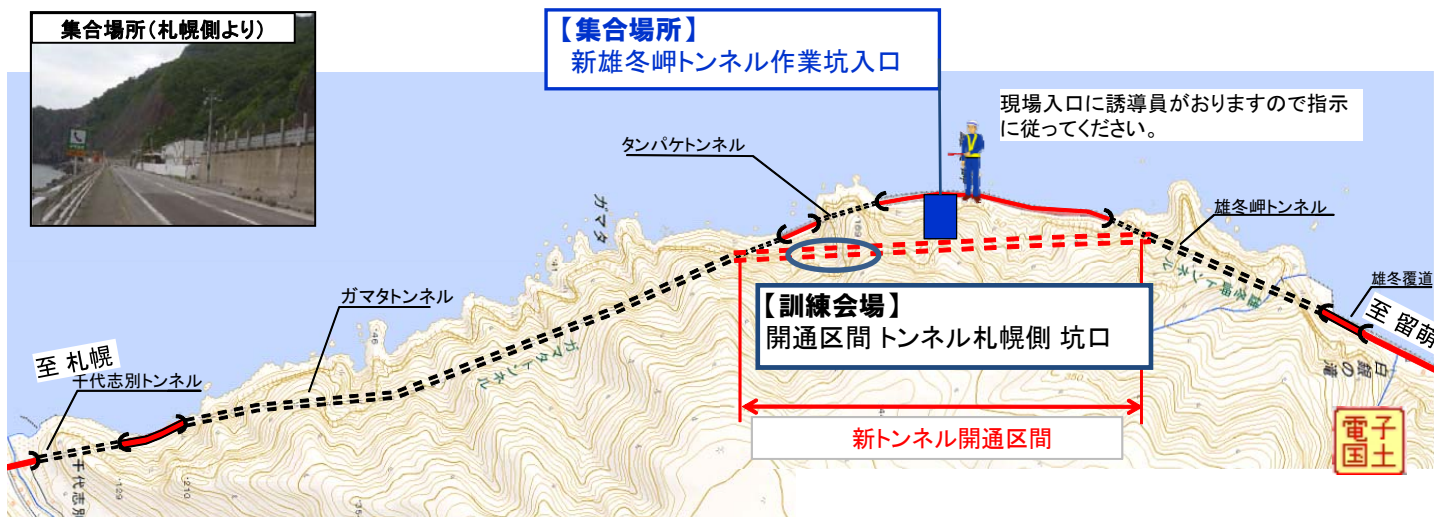
救助・救出訓練

トンネル内で事故が発生した場合を想定して消防署による救助・救出を行う訓練です。



報道機関のみなさまへ

取材を希望される場合は、当日午後12時40分までに集会場へお集まりください。担当者がご案内いたします。

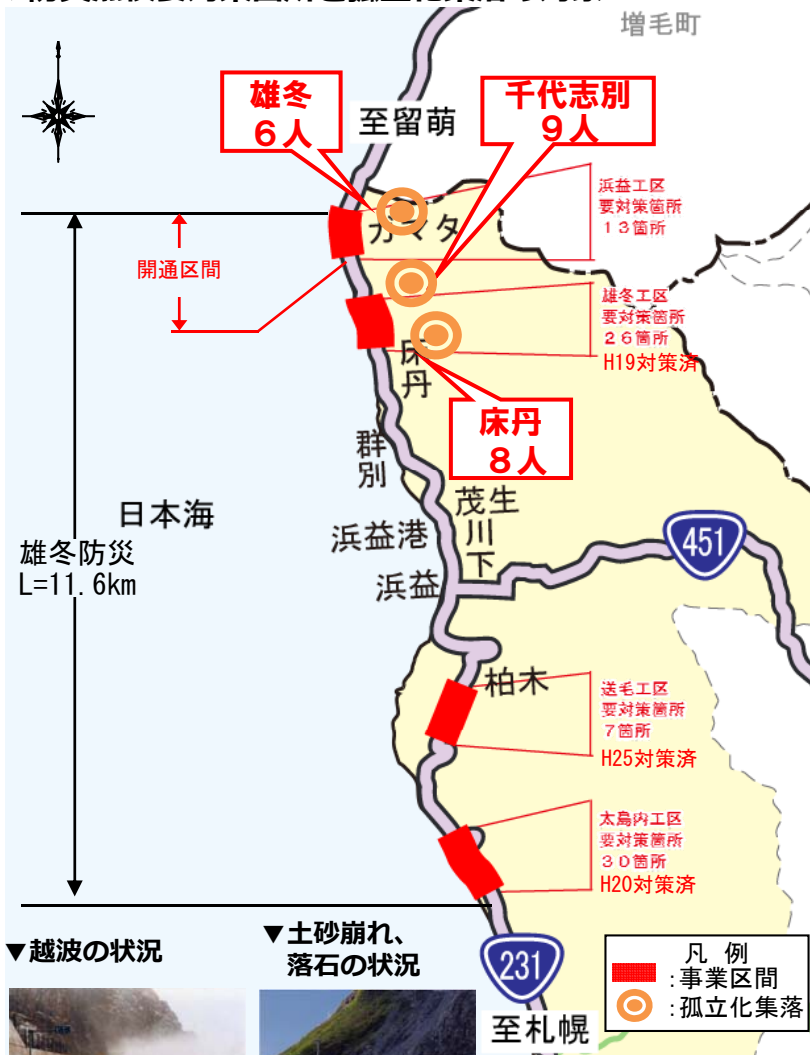


〈期待される効果〉 道路交通の確実性及び安全性の向上

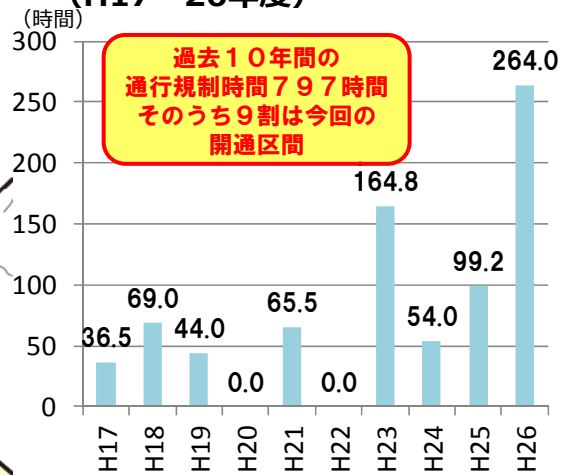
- 当該事業区間では、越波、土砂崩れ・落石による通行止めが過去10年間（平成17～26年度）で32回（総通行規制時間797時間）発生し、石狩市浜益区雄冬などの地区では孤立集落が発生しています。
- 当該道路の整備により、道路交通の確実性及び安全性の向上、集落の孤立化の解消が期待されます。

◆ 道路交通の確実性及び安全性の向上が期待されます！

▼ 防災点検要対策箇所と孤立化集落の対象



▼ 通行規制時間の経年推移 (H17～26年度)



▼ 規制理由別 規制回数・規制時間 (H17～26年度)

規制理由	規制回数 (回)	規制回数 (時間)
越波	30	749.5
土砂崩れ・落石	2	47.5
合計	32	797

資料: 札幌開発建設部調べ

▼ 越波の状況



▼ 土砂崩れ、落石の状況



資料: H27石狩市住民基本台帳

【石狩市浜益区職員の声】



・夜間の通行規制も含めて、通行止めが何度も発生していると感じています。特に、落石、土砂崩壊などの自然災害による影響がなくなることによって、安全安心な通行ができることから、早期の完成を望みます。

▼ 過去10年間の石狩市浜益区 床丹・千代志別・雄冬地区の孤立化回数



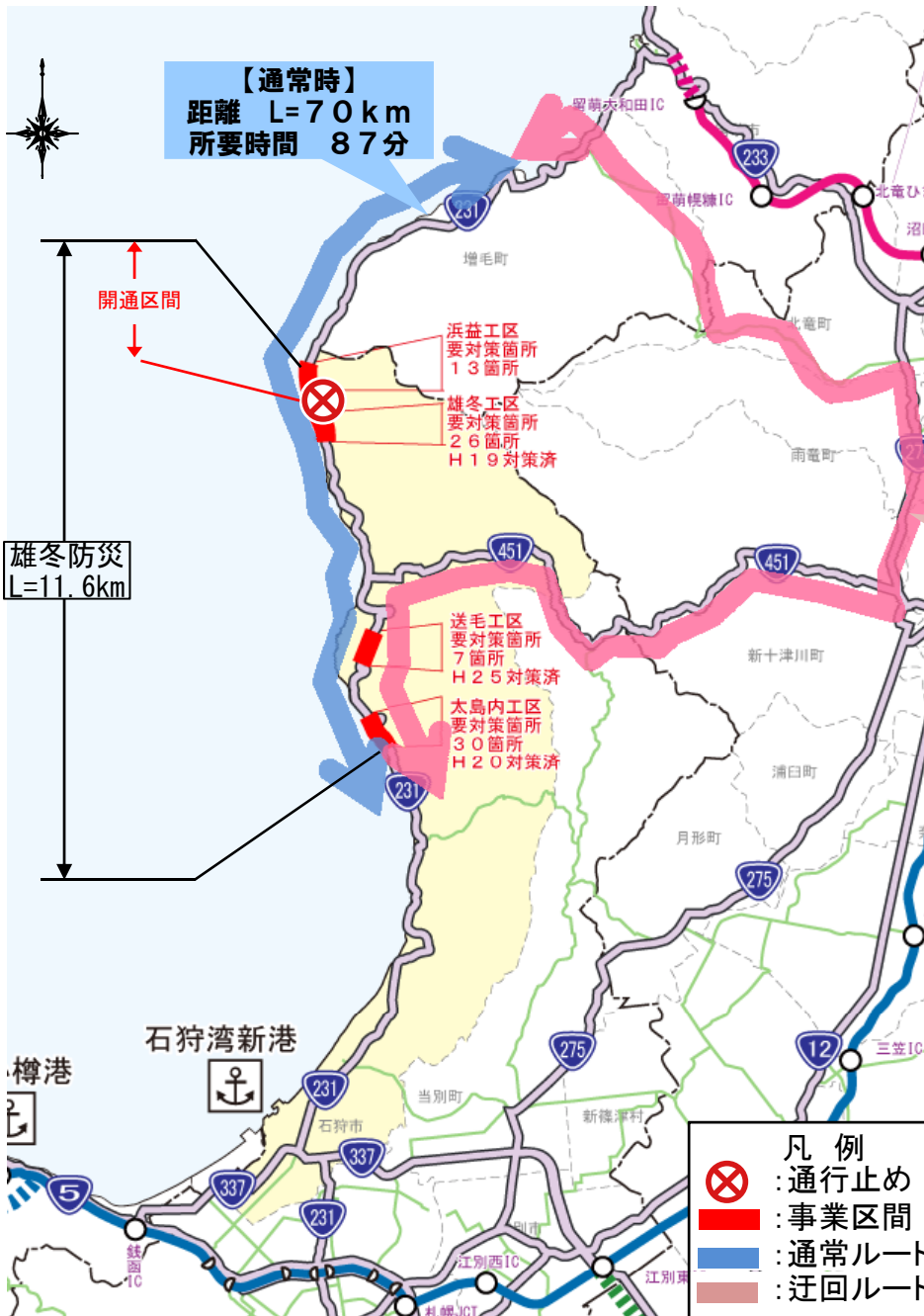
〈期待される効果〉 通行止め時の迂回交通を解消

- 通行止め時は厚田～増毛間の大規模な迂回（87分→143分、70km→132km）が発生し、所要時間が1.6倍に増加するなど、地域住民の生活に大きな負担となっています。
- 当該道路の整備により、通行止めによる大規模な迂回の解消が期待されます。

◆通行止めによる迂回交通の解消が期待されます！

▼通常時と迂回時の交通状況

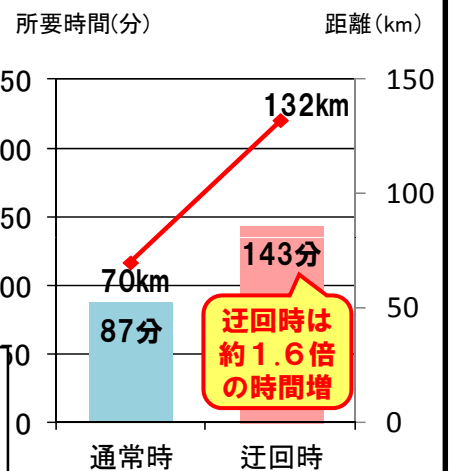
▼通行止め状況



過去10年間
規制回数32回
規制時間 797時間

【迂回時】
距離 L=132km
所要時間 143分
(通常ルートの約1.6倍)

▼増毛～厚田間の通常時・迂回時の所要時間



【石狩市浜益区職員の声】

・夜間の通行規制も含めて、通行止めが何度も発生していると感じています。特に、落石、土砂崩壊などの自然災害による影響がなくなることによって、安全安心な通行ができることから、早期の完成を望みます。

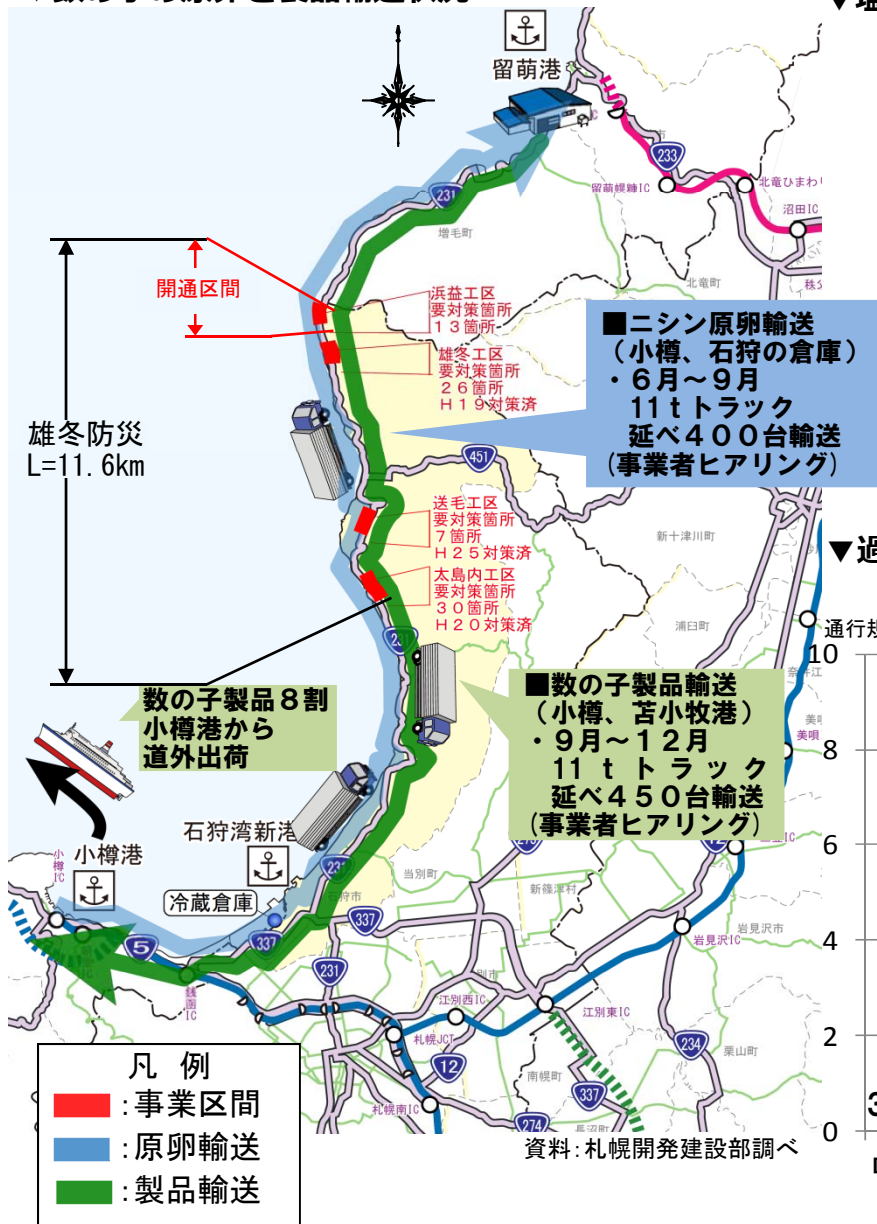


〈期待される効果〉 水産品の確実な輸送路の確保

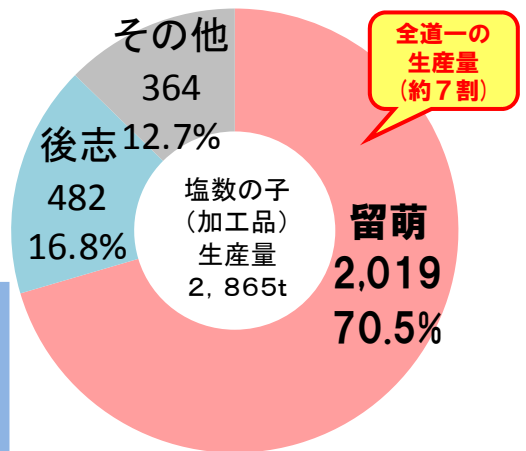
- 留萌地区で加工される数の子製品は、**全道の約7割のシェア**を誇り、当該路線は、原料となるニシン原卵と数の子製品を輸送する重要なルートとなっています。
- 製品輸送時期の9月から12月までの間には**通行規制が過去10年間**(平成17~26年度)で**18回**発生し、迂回等により**輸送効率が低下**しています。
- 当該道路の整備により、**水産品の確実な輸送路の確保**が期待されます。

◆水産品の確実な輸送路の確保が期待されます！

▼数の子の原卵と製品輸送状況

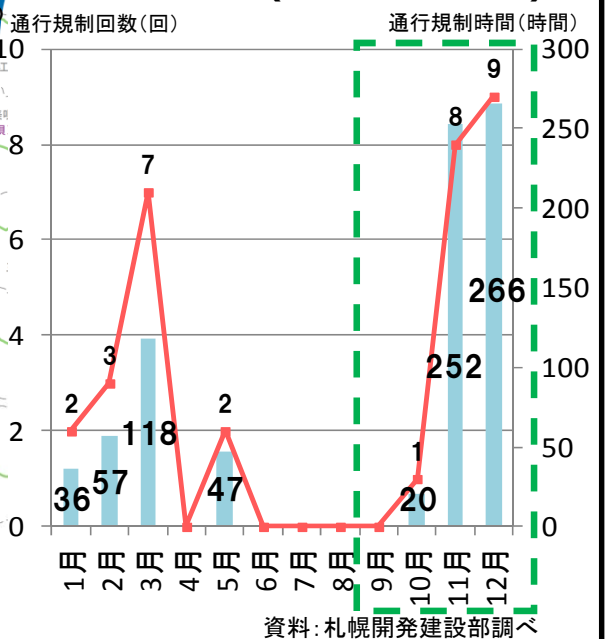


▼塩数の子(加工品)の地域別生産量



資料: H26北海道水産物加工協同組合連合会 ヒアリング結果

▼過去10年間の通行規制の発生月 (平成17~26年度)



【物流業者社員の声】



- ・ これまでは、通行止めの発生による輸送への影響がないように、常に最新の天候に気を配り、迂回路を利用する場合は早期に出発するなどの運行計画を立てていました。
- ・ 安定した輸送のためにも、通行止めのない安全な道路の整備を希望します。